

2008年3月期 決算説明会

2008年5月23日

日本光電工業株式会社

証券コード : 6849

<http://www.nihonkohden.co.jp>

決算の概要(連結)

- 1) 当期の決算概要
- 2) 営業利益増減の要因分析
- 3) 商品群別売上高
- 4) 国内売上高
- 5) 海外売上高
- 6) 財政状態
- 7) キャッシュフロー
- 8) 設備投資と研究開発費
- 9) 次期業績見通し
- 10) 株主還元策

1) 当期の決算概要

(単位:百万円、単位未満切捨て)

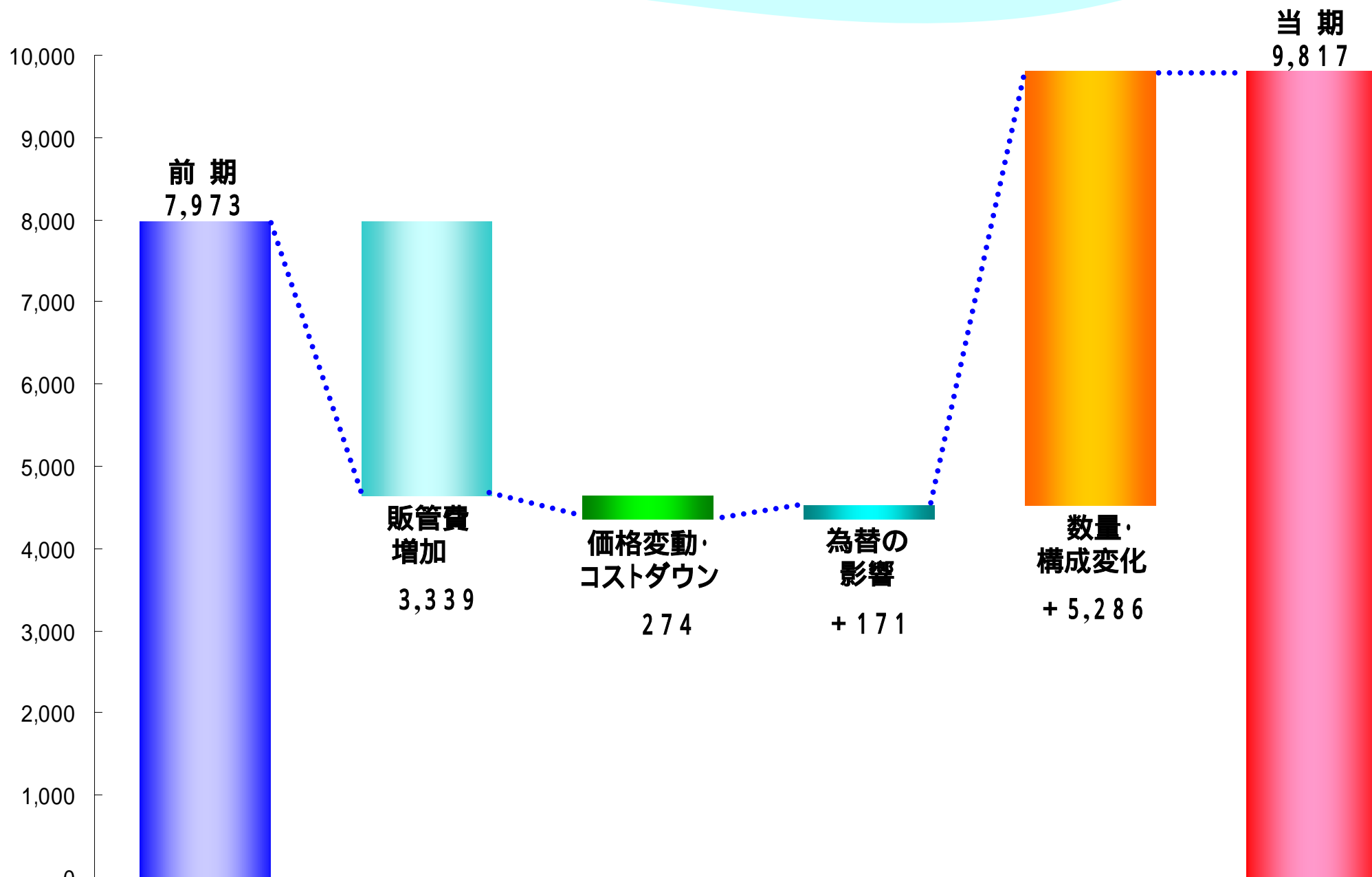
	前期 (2007/3)	当期 (2008/3)		
		前回予想	実績	増減率 (%)
売上高	96,679	102,800	104,825	8.4
営業利益	7,973	9,500	9,817	23.1
経常利益	8,448	9,600	9,545	13.0
当期純利益	5,052	6,000	5,631	11.5

平均レ－ト	(2007/3)	(2008/3)
1ドル	116円	114円
1ユーロ	149円	161円

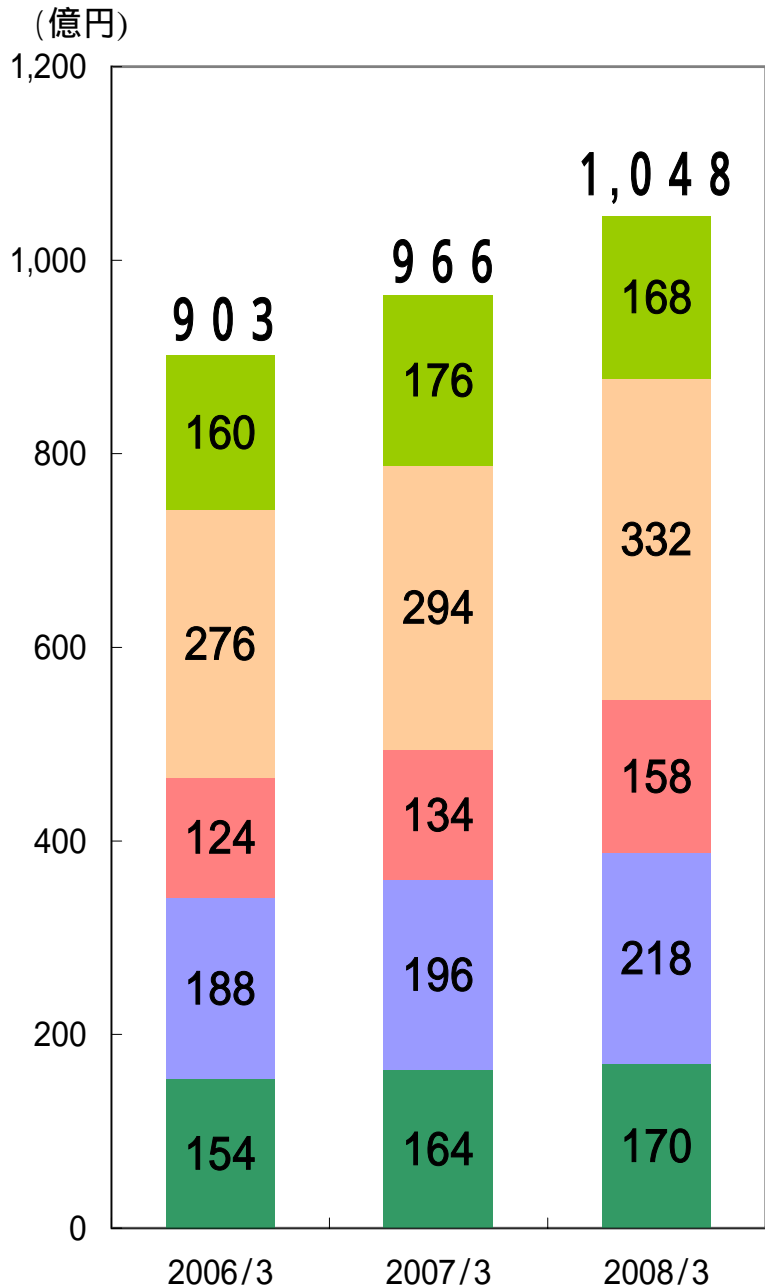
11/12中間発表時公表の予想数値

2) 営業利益増減の要因分析

(単位:百万円)



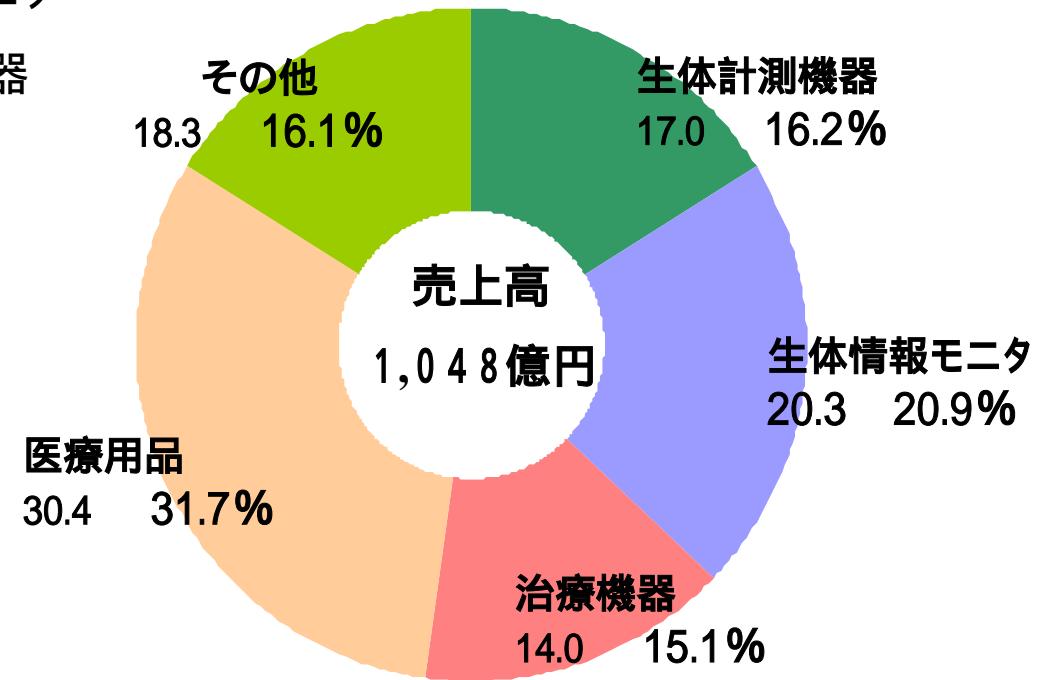
3) 商品群別売上高



- その他
- 医療用品
- 治療機器
- 生体情報モニタ
- 生体計測機器

商品群別売上構成比

(2007/3 2008/3)



3.1) 生体計測機器

(単位:百万円)

	前期 (2007/3)	当期 (2008/3)	増減率(%)
脳神経系群	6,701	7,537	12.5
心電計群	6,119	6,182	1.0
ポリグラフ群	3,662	3,282	10.4
生体計測機器合計	16,481	17,001	3.2
うち海外売上高	5,623	5,808	3.3



脳波計 EEG-1200



心電計 ECG-1400



ポリグラフ RMC-4000

3.2) 生体情報モニタ

(単位:百万円)

	前期 (2007/3)	当期 (2008/3)	増減率(%)
生体情報モニタ合計	19,673	21,882	11.2
うち海外売上高	8,237	9,850	19.6



ベッドサイドモニタ BSM-9101



セントラルモニタ CNS-9601

3.3-1) 治療機器

(単位:百万円)

	前期 (2007/3)	当期 (2008/3)	増減率(%)
除細動器	7,352	9,567	30.1
ペースメーカー	3,408	3,367	1.2
人工呼吸器	1,621	1,724	6.4
その他治療器	1,107	1,204	8.8
治療機器合計	13,488	15,862	17.6
うち海外売上高	2,451	2,556	4.3



除細動器 TEC-2500



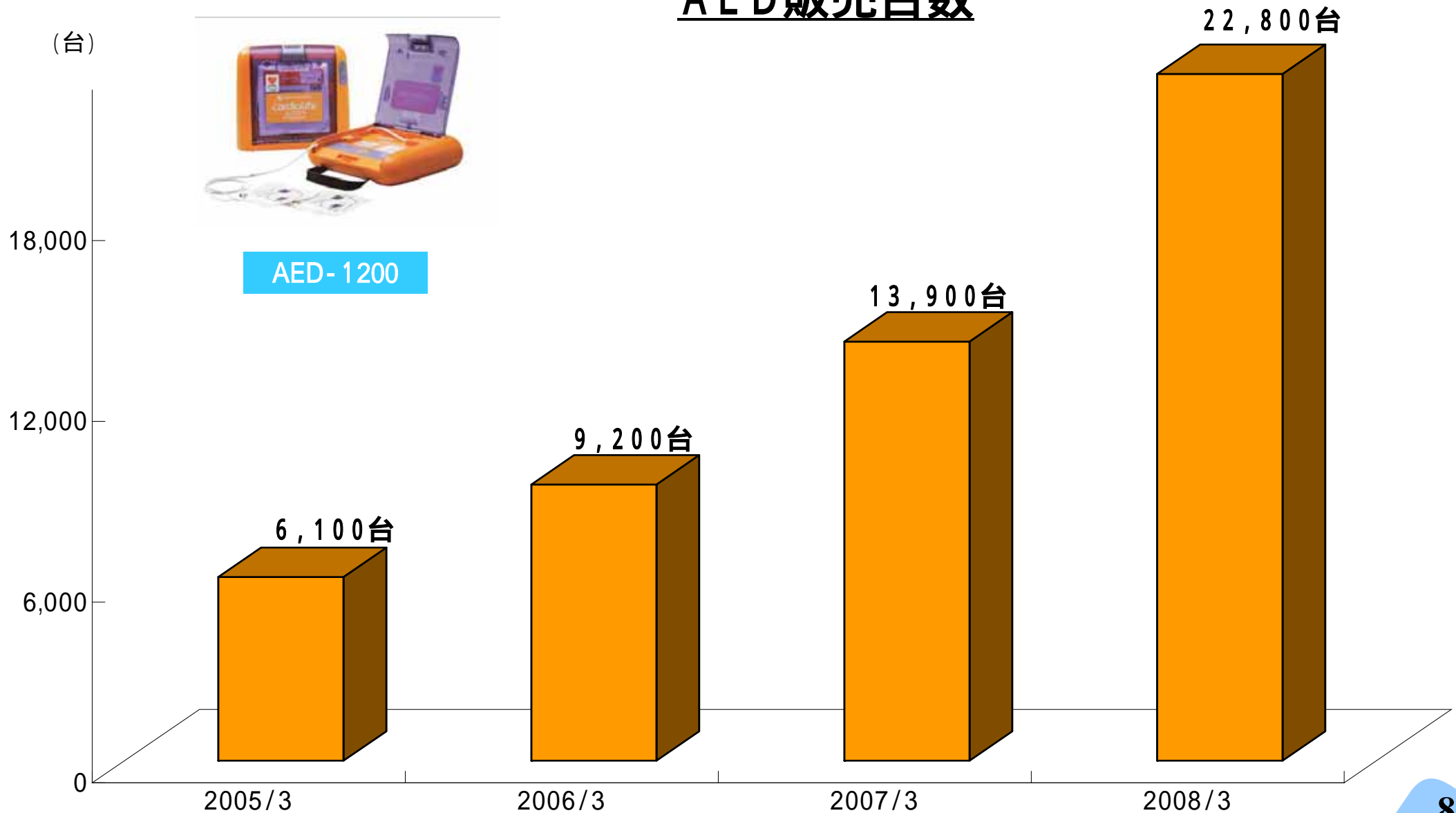
心臓ペースメーカー Philos DR



人工呼吸器 ラファエル カラー

3.3-2) A E D の販売実績

A E D 販売台数



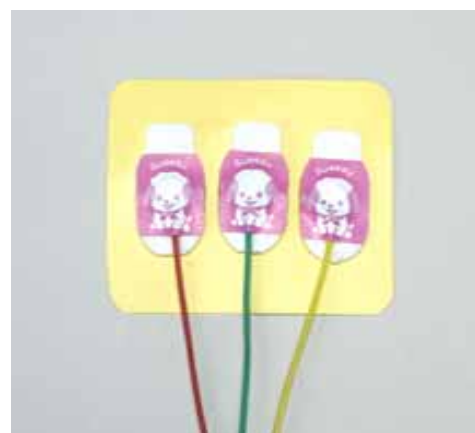
3.4) 医療用品

(単位:百万円)

	前期 (2007/3)	当期 (2008/3)	増減率(%)
消 耗 品	23,527	26,912	14.4
修 理 ・ 保 守 他	5,880	6,305	7.2
医 療 用 品 合 計	29,407	33,217	13.0
うち海外売上高	3,981	5,466	37.3



フィンガープローブ TL-201T



Disposable電極 N-03IS3



インサイトカテーテル

3.5) その他

(単位:百万円)

	前期 (2007/3)	当期 (2008/3)	増減率 (%)
その他合計	17,627	16,861	4.3
うち検体検査装置	3,396	3,934	15.8
うち海外売上高	1,634	2,005	22.7



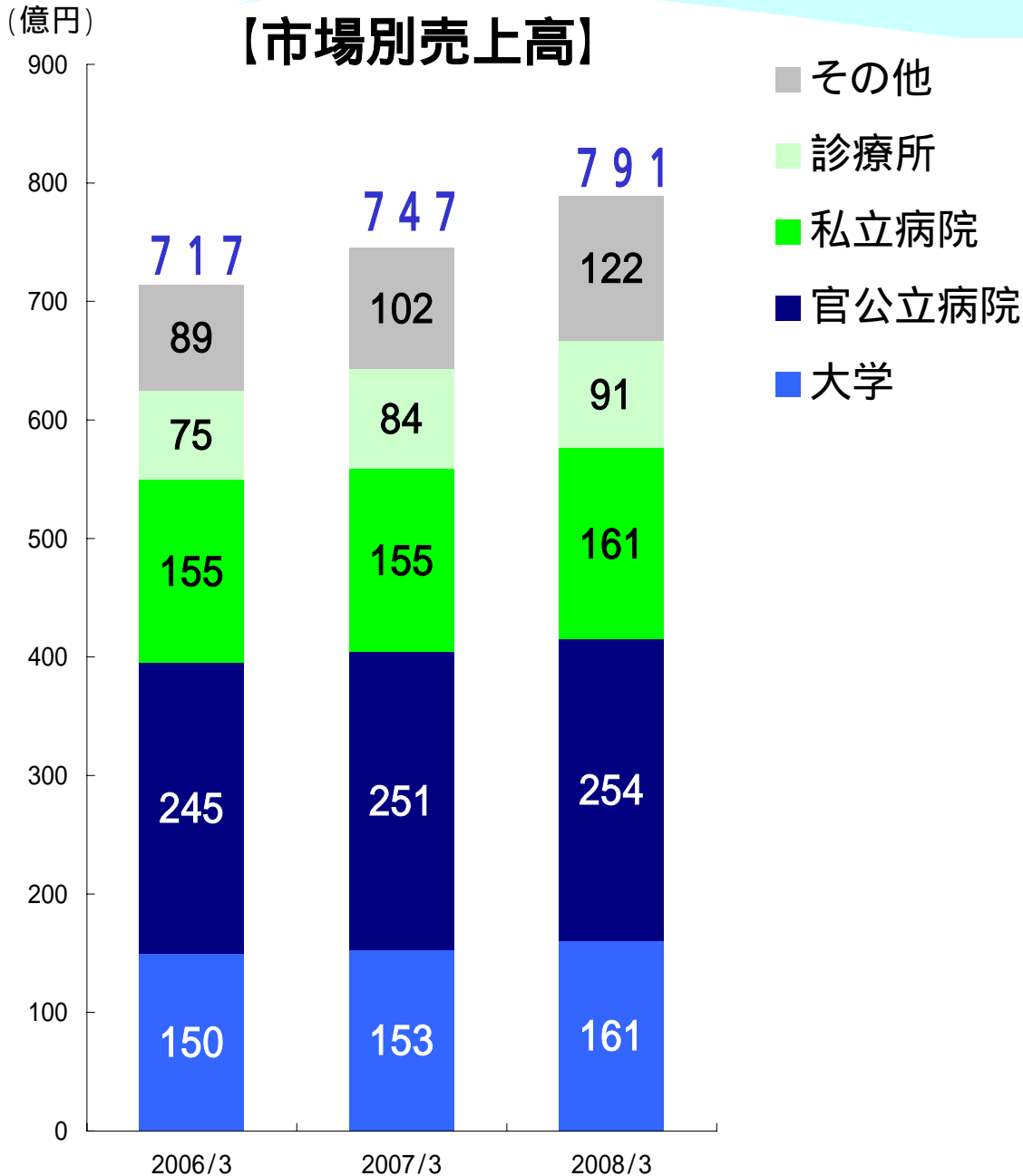
全自動血球計数器 MEK-6400



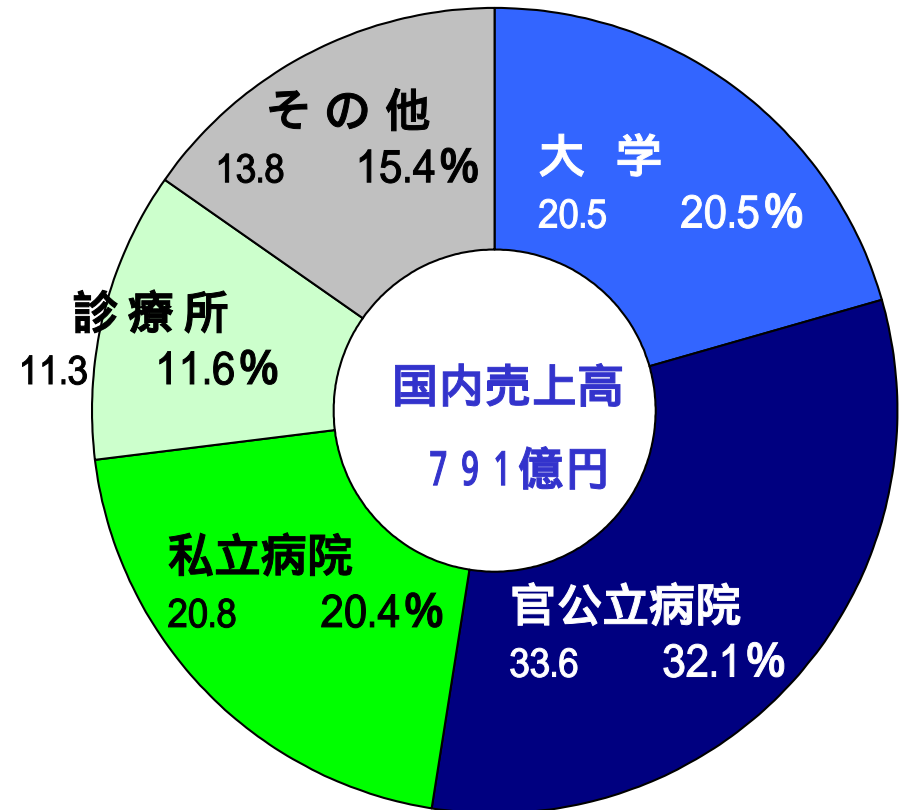
診療支援システム Prime park

4) 国内売上高

【市場別売上高】

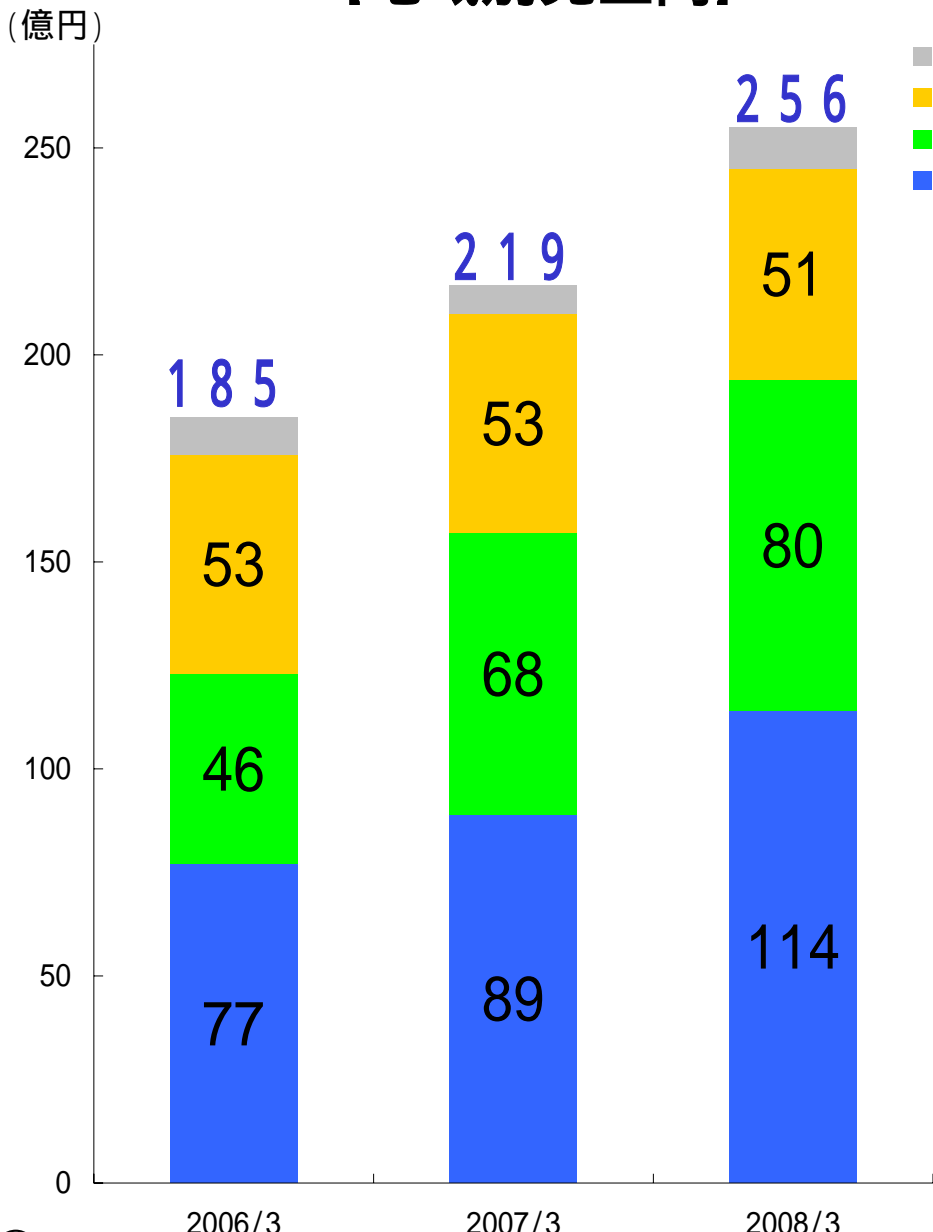


市場別売上構成比
(2007/3 2008/3)



5) 海外売上高

【地域別売上高】

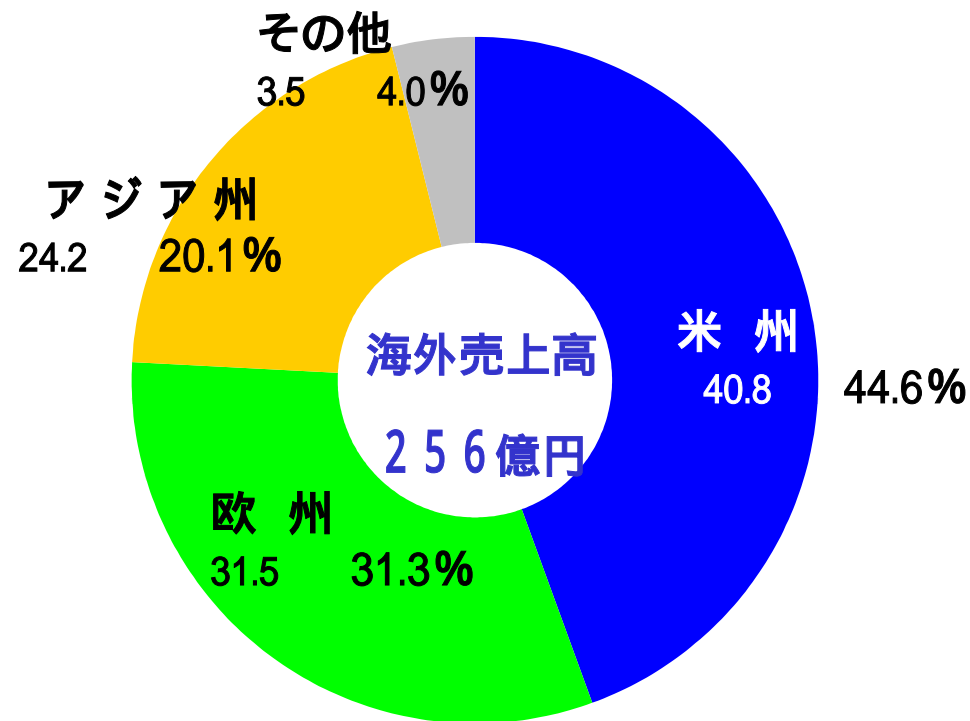


海外売上高比率

2006/3	2007/3	2008/3
20.6%	22.7%	24.5%

地域別構成比

(2007/3 2008/3)



注)

・2007/3期より「トルコ」の地域区分を「アジア州」から「欧州」に変更しています。

・2007/3期米州に約14億円、2008/3期米州に約22億円の中南米での大口商談が含まれています。

6) 財政状態

(単位:百万円)

	前期末 (2007/3)	当期末 (2008/3)	増減額
流動資産	58,908	63,718	4,810
固定資産	16,985	16,911	74
資産合計	75,894	80,630	4,736
流動負債	26,376	28,242	1,865
固定負債	653	573	79
負債合計	27,029	28,815	1,786
純資産	48,864	51,814	2,949
負債純資産合計	75,894	80,630	4,736

・現金及び預金: 27.5億円 (B/S 83億円)
 ・譲渡性預金: + 55.0億円 (B/S 55億円)
 ・受取手形・売掛金: + 21.3億円 (B/S 309億円)
 ・在庫: 5.6億円 (B/S 144億円)

・有形固定資産: + 2.7億円 (B/S 95.8億円)
 ・投資有価証券: 12.4億円 (B/S 36.6億円)
 時価評価による評価額の減少

・支払手形・買掛金: + 18.9億円 (B/S 180.1億円)

7) キャッシュフロー

(単位: 百万円)

	前期末 (2007/3)	当期末 (2008/3)	増減額
営業CF	5,882	8,621	2,739
投資CF	3,050	2,857	192
FCF	2,832	5,764	2,931
財務CF	2,591	2,887	296
換算差額	17	106	88
増減額	223	2,769	2,546
期末残高	11,027	13,797	2,769

税金等調整前当期純利益 96.3億円(+13.2億円)
在庫の減少額 5.6億円(+14.9億円)

有形固定資産の取得 17.8億円
無形固定資産の取得 5.3億円

短期借入金の返済 10.8億円
配当金の支払 14.0億円
自己株式の取得 2.5億円

8) 設備投資と研究開発費

(単位:百万円)

	前期 (2007/3)	当期 (2008/3)		増減額 (年度比較)	2009/3 計画
		計画	実績		
設備投資額	2,986	4,000	2,658	328	4,400
減価償却費	1,698	2,100	2,106	407	2,700
研究開発費	4,756	4,900	4,662	94	5,000

設備投資の実績

新製品の「型」、計測器、販促用製品 他
富岡試薬工場建設(一部) / 富岡機械装置

次期計画の主な案件

新製品の「型」投資、販促用製品
富岡試薬工場建設 / 富岡第二工場増設
基幹系システムの再構築

9) 次期業績見通し

(単位:百万円)

	前期実績 (2007/3)	当期実績 (2008/3)	次期予想 (2009/3)	増減率(%)
売上高	96,679	104,825	107,000	2.1
営業利益	7,973	9,817	8,500	13.4
経常利益	8,448	9,545	8,500	11.0
当期純利益	5,052	5,631	5,200	7.7
海外売上高	21,928	25,687	25,300	1.5

海外売上高比率

22.7%

24.5%

23.6%

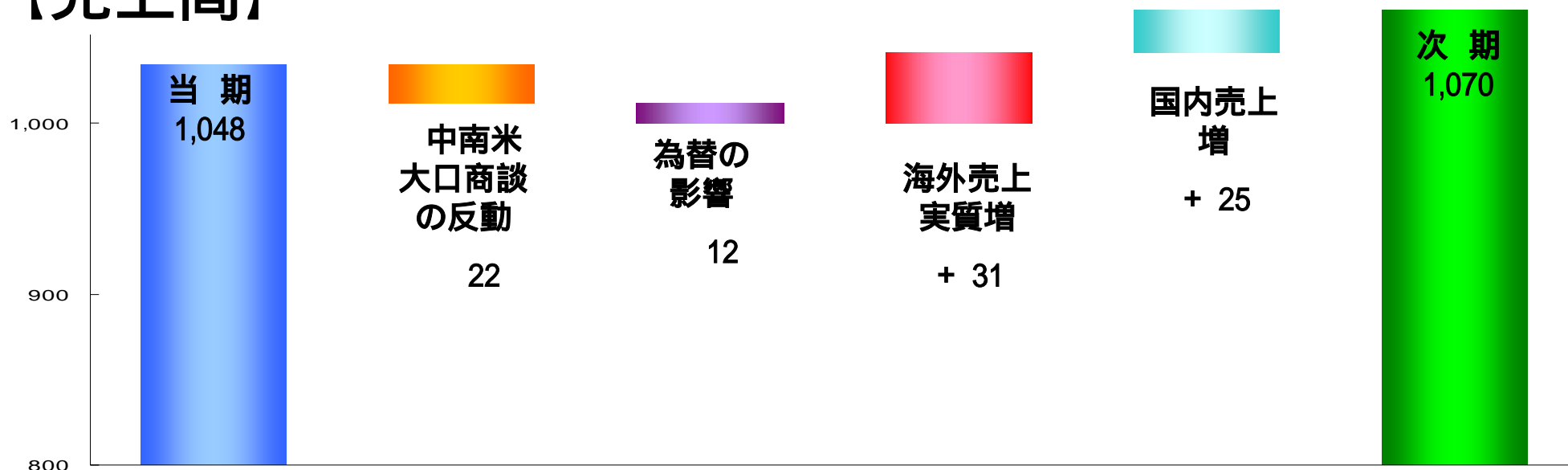
平均レート

1ドル	116円	114円	105円
1ユーロ	149円	161円	150円

9) 次期業績見通しの要因分析

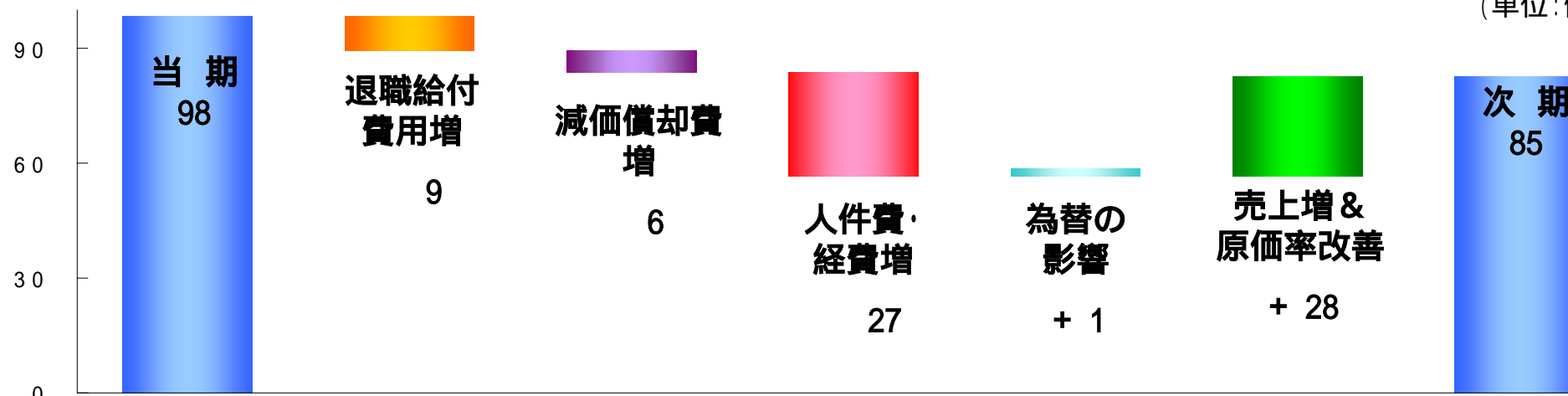
【売上高】

(単位:億円)



【営業利益】

(単位:億円)



9) 次期業績見通し

【商品群別売上高】

(単位:百万円)

	前期実績 (2007/3)	当期実績 (2008/3)	次期予想 (2009/3)	増減率(%)
生体計測機器	16,481	17,001	17,300	1.8
生体情報モニタ	19,673	21,882	22,800	4.2
治療機器	13,488	15,862	17,000	7.2
医療用品	29,407	33,217	33,900	2.1
その他	17,627	16,861	16,000	5.1
売上高合計	96,679	104,825	107,000	2.1

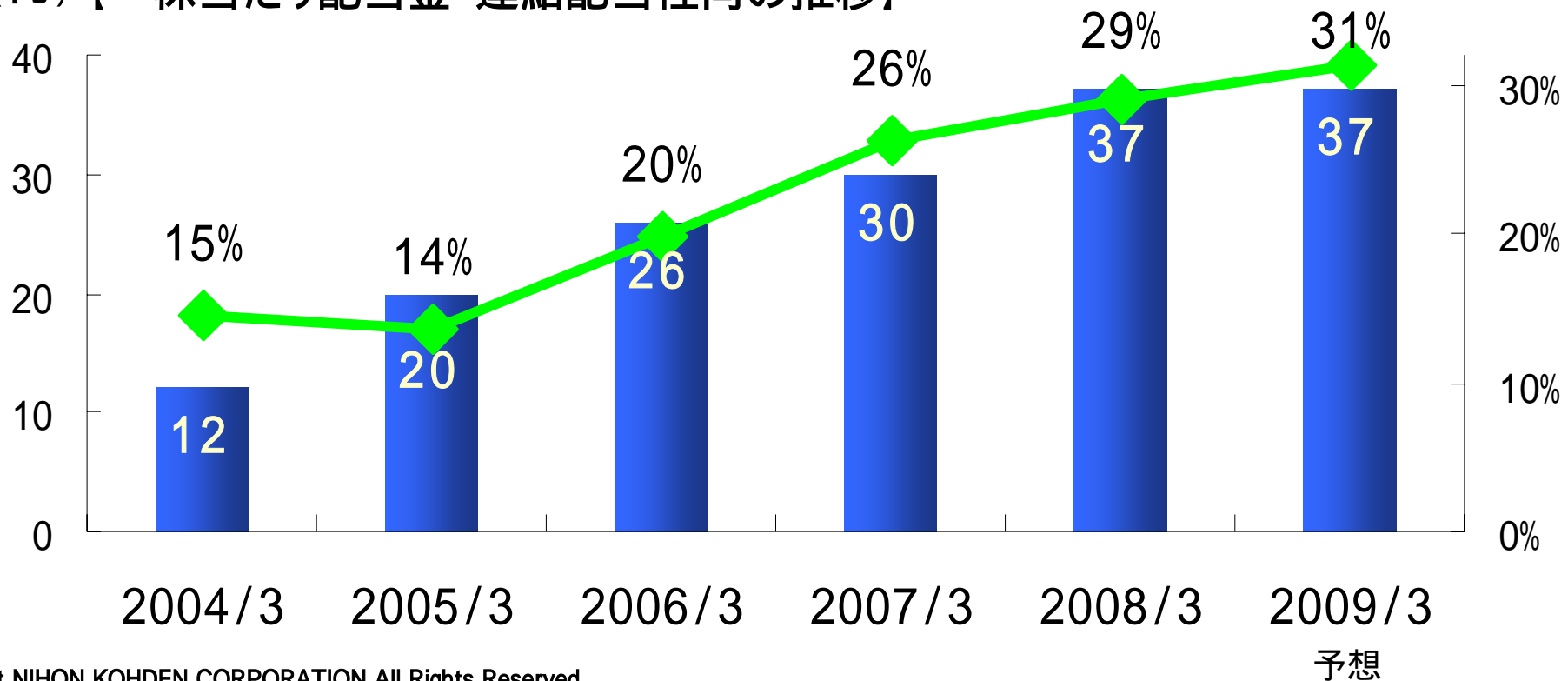
10) 株主還元策

【基本方針】

企業体質の強化と将来の事業展開に備えるための内部留保の充実に配慮しながら、長期にわたって安定的な配当を継続

当面の目安：連結配当性向30%

(円) 【一株当たり配当金・連結配当性向の推移】



当社の基本戦略

SPEED UP II

中期経営計画

1) 経営ビジョン・経営方針

経営ビジョン

医用電子機器メーカーとしてのグローバルブランドの確立

経営方針

- 適正利益の確保による企業価値向上
- 顧客の信頼の確立
- 独創的技術・商品の開発
- 事業の重点展開と世界市場の攻略
- 事業国際化の推進
- 新事業への積極的展開
- 業務機構の改革
- 全員参加による事業運営
- CSRの推進

2) 長期経営目標

2012年度までに

売上高 1,400億円

営業利益率 10%

海外売上高比率 30%

を目指す

3) 中期経営計画

	2007/3 (実績)	2008/3 (実績)	2009/3 (予想)	2010/3 中期経営目標値	3カ年 伸び率
売上高	966億円	1,048億円	1,070億円	1,130 億円	16.9%
海外売上高比率	22.7%	24.5%	23.6%	27.0 %	
営業利益	79億円	98億円	85億円	102 億円	27.9%
売上高営業利益率	8.2%	9.4%	7.9%	9.0 %	
ROE	10.7%	11.3%		12.0 %	
在庫回転率	6.4回	7.3回		7.4回	

売上高 ÷ 在庫高 (6・9・12・3月末平均)

4) 2009年3月期の重点事項 - 1

成長を支えるための事業基盤の強化

富岡生産体制の強化

富岡第二工場の本格稼働(2008年9月) 海外事業拡大や自社製AEDなどの生産増に対応

海外販売・サービス体制の強化

- ・中国販売子会社設立(2008年4月)
- ・日本光電イタリアの再編成(2008年4月) 代理店販売から直接販売に変更

基幹系システムの再構築による業務効率化の推進

技術開発体制、営業・サービス体制強化のため、人員増強

持続的成長に向けた投資に取り組む一方、業務の効率化を推進

5) 2009年3月期の重点事項 - 2

成長分野への注力と安定収益の確保

経営環境

先進国の高齢化

医療費の伸び抑制

治療から予防へ

医療の安全確保・
効率化・質向上

BRICSなど新興市場の成長

新規事業の創出

自社の強みを生かせる分野への注力

- 5つのコア事業の拡大 -

1. 脳神経系群
2. 心電計・ポリグラフ群
3. 生体情報モニタ
4. 除細動器・AED
5. 検体検査装置

ランニング事業の強化

6) 新規事業の創出 - 1

免疫事業拡大に向けた基盤技術の強化

免疫診断試薬作成技術の取り込み

- 抗体作成技術 日本バイオテスト研究所の子会社化(2008年4月)
- ラテックス粒子技術 神戸に研究室開設(2008年5月)

当社先端医用電子技術との融合

全自動血球計数器
MEK-6400



免疫反応測定装置
CRP-3100



急速に広がるPOCT 市場での免疫事業拡大を目指す

感染症

糖尿病

腫瘍

インフルエンザ

Point Of Care Testing: 患者さんのすぐそばで行う迅速診断検査。速やかな治療が可能となり、患者さんのQOLの向上につながります。

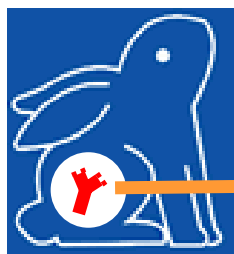
[参考] 免疫診断試薬作成技術の取り込み

免疫反応測定装置
CRP-3100

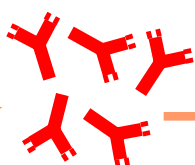


血液中のCRP(C反応性蛋白 C-Reactive Protein)を測定するラテックス凝集免疫比濁方式の検査装置

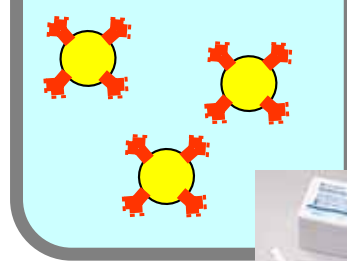
免疫診断試薬作成技術の取り込み



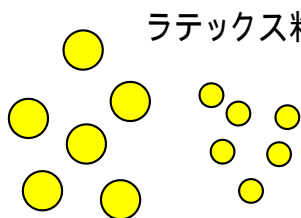
CRP抗体



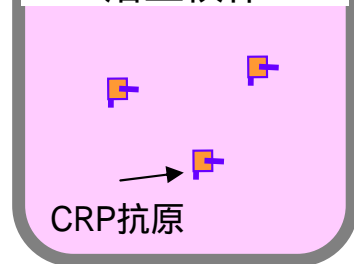
CRP抗体感作ラテックス試薬



ラテックス粒子

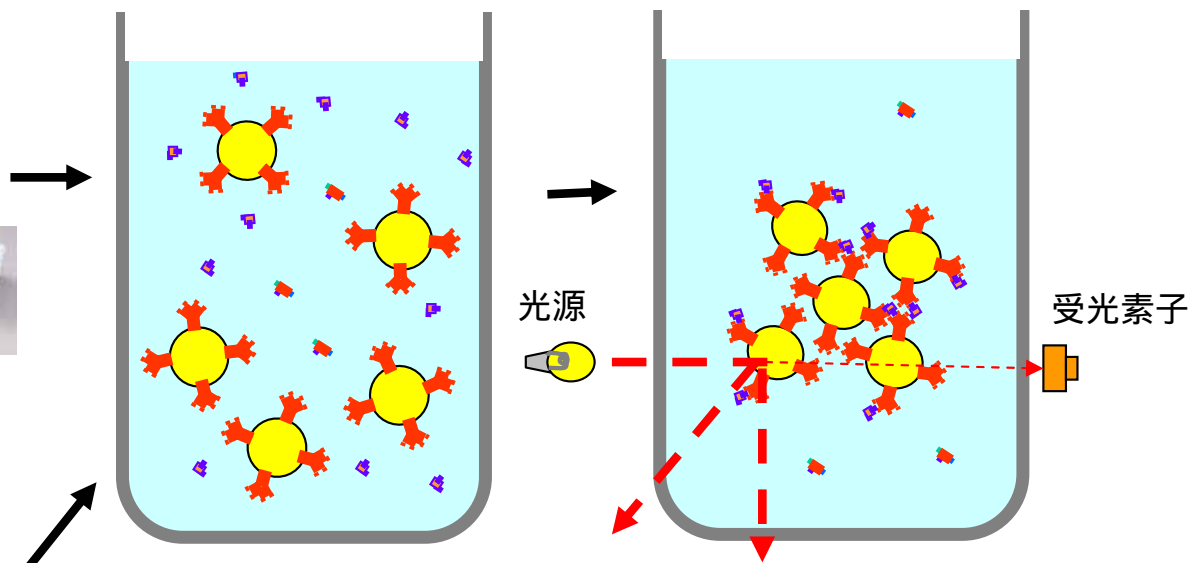


溶血検体



CRP抗原

- ラテックス凝集免疫比濁法の測定原理 -



検体中にCRP抗原があると凝集が起こり、反応液に濁りが生じるため、光が通りにくくなります。

6) 新規事業の創出 - 2

免疫・バイオ領域等の新基礎技術分野への進出

産学協同体制の
構築

「東京女子医科大学・早稲田大学連携
先端生命医科学研究教育施設」に研究室を設置
(2008年5月)

技術力の強化

医学、工学、生物学の専門家が集まる研究現場で
共同研究を推進

研究テーマの
実用化加速

開発目標の1例: 組織からの細胞単離、単離細胞の
培養、単離細胞の診断に利用される装置(細胞単
離装置など)

新たな分野の医療機器開発につなげ、事業領域の拡大を目指す

7) 自社の強みを生かせる分野への注力 - 1

AED事業の拡大

AEDラインナップ
の拡充



AED-9231



AED-1200

低価格AED
を開発・発売
(2009年3月期中)

新たな販売
チャネルの開拓

国内の販売協力企業の拡充

自社製AEDの
海外展開開始

一般市民によるAED使用が認められた国・地域で
自社製AEDの販売を開始(2009年3月期中)

国内外におけるAED事業の拡大を目指す

7) 自社の強みを生かせる分野への注力 - 2

生体情報モニタ事業の拡大

新商品モニタ の投入



セントラルモニタ CNS-9601

国内2008年4月発売
海外2009年3月期中発売予定



ベッドサイドモニタ BSM-6501 BSM-6701

海外2008年5月発売
国内2009年3月期中発売予定

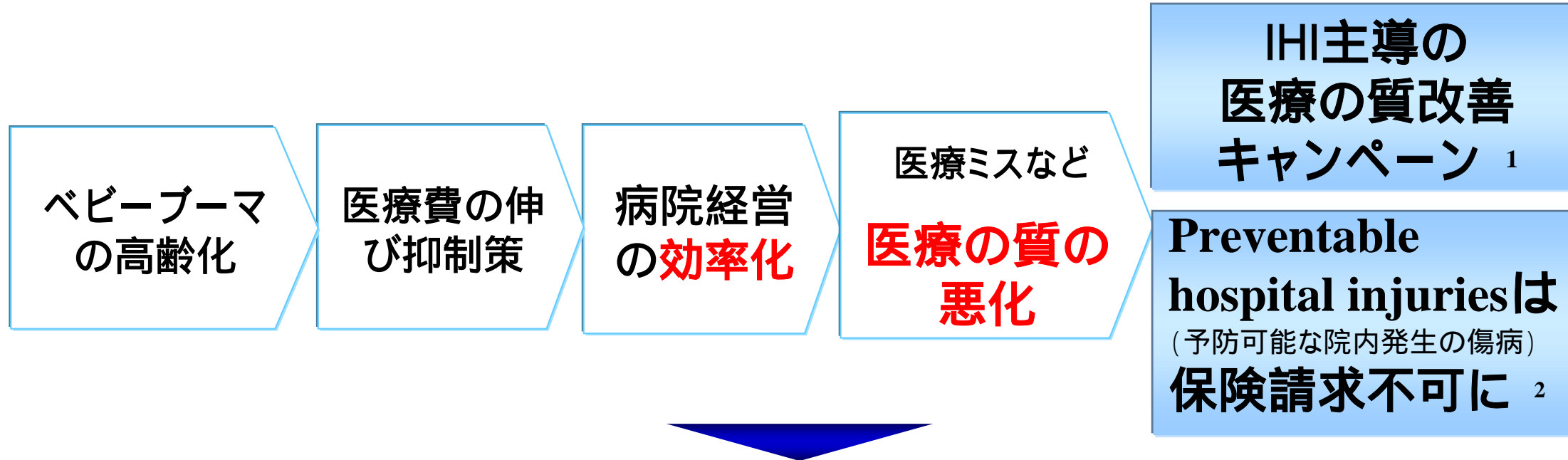
新たな利用領域 の創出

米国で“Defensive Monitoring”による”Saving Lives and Avoiding Costs”ソリューションを提案

国内外における生体情報モニタ事業の拡大を目指す

[参考]米国で”Saving Lives and Avoiding Costs”ソリューションを提案

背景: アメリカの医療環境



アメリカの医療機関は、効率的な「**医療の質の改善**」が急務

- 1 医療の質改善研究所 (IHI: Institute for Healthcare Improvement) は、年間10万人が医療ミスなどで亡くなる状況を改善するため「10万人の命を救えキャンペーン (100K lives campaign)」を展開し、多くの病院が参加。成功を受け、現在「5 million lives campaign」を展開中。
- 2 米公的医療保険メディケア、メディケイドでは、2008年10月から予防可能な院内発生の傷病に対する保険請求が不可に。

[参考]米国で”Saving Lives and Avoiding Costs”ソリューションを提案

当社独自の技術により、米医療現場のニーズに合ったソリューションを提案

“Defensive Monitoring”

(ICUやCCUでの重症患者に対するケアに加え)

一般病棟での医療過誤等を予防する為のモニタリングを提案

病棟

NTX

心電図、呼吸、SpO2の他、**世界で唯一**、**非観血**血圧の測定・送信が可能



ナースステーション

Prefense

40台のNTXと連携し、**効率的な看護が可能**な、新しいコンセプトの集中モニタリングシステム



生体情報モニタの新たな利用領域の創出

7) 自社の強みを生かせる分野への注力 - 3

高品質の製品・サービスの提供

当社の製品・サービスに関し、アメリカの医療機関から高い評価

生体情報モニタ

(10点満点、対象企業数8)

製品の信頼性

- | | | |
|----|-------------|-----|
| 1. | フィリップス | 8.7 |
| 2. | 日本光電 | 8.6 |
| | ⋮ | |

サービス内容

- | | | |
|----|-------------|-----|
| 1. | 日本光電 | 8.5 |
| 2. | データスコープ | 8.0 |
| | ⋮ | |

注) Medical Strategic Planning, Inc.調べ(2006年上半期)

脳波計(睡眠ポリグラフ)

(10点満点、対象企業数6)

顧客満足度

- | | | |
|----|-------------|-----|
| 1. | 日本光電 | 8.8 |
| 2. | レスピロニクス | 8.5 |
| | ⋮ | |

注) MD Buyline, Inc.調べ(2008年1 - 3月)

フロスト&サリバンから北米生体情報モニタ市場におけるマーケットシェア・アドバンスメント賞を授与

高品質の製品・サービスを提供し続け、ユーザ - の信頼を維持

8) ランニング事業の強化

消耗品のグローバル展開加速

血球計数器向け 試薬の現地生産

インド・スパン社と試薬生産の合弁会社を設立
(2008年5月)

インドでの検体機器・試薬ビジネスの更なる発展

筋電図検査装置向け 電極類の海外展開

筋電図用針電極の商品ラインナップ拡充
(2009年3月期中)



筋電図用針電極 (OEM)

筋電図検査装置・消耗品ビジネスの更なる発展

消耗品のグローバル展開加速により安定収益の確保を目指す

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営企画室

【連絡先】 03-5996-8003